

相馬・南相馬・新地町の

妊婦さん、乳幼児がいる家庭に対するアンケート結果

実施期間：2012年7月18日（水）及び7月21日（土）の2日間

実施場所：福島県相馬市栗津字栗津35-5（Bridge for Fukushima 相馬基地内）

実施方法：一般社団法人 Bridge for Fukushima が相馬基地で物資配布を行った際に直接書面（A4-4枚）によるアンケート調査を実施し、その場で回収を行った。

対象数：相馬基地登録者数673名中（※7月7日現在）、2日間で379名（重複者約90名含む）が来場し217件のアンケートを回収した。2日間の重複者約90名は1度目のみの回答。

※登録者は、相馬市、南相馬市、新地町にいる妊婦さんと、1歳6か月以下の乳幼児がいる家族

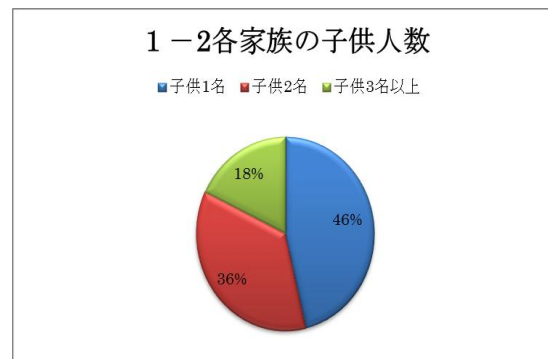
有効回答数：379人－90人＝289人中217件（75.0%）

実施者：一般社団法人 Bridge for Fukushima

1. 家族構成について



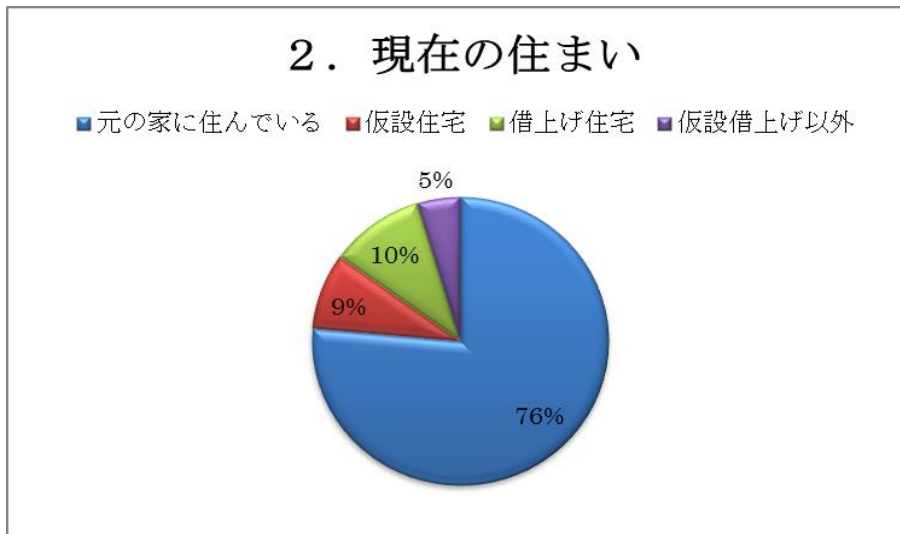
3人以下	68
4~5人	107
6人以上	42



子供1名	98
子供2名	76
子供3名以上	38

家族人数は3人以下が20%、4~5人が49%、6人以上が31%となっており、子供の人数は、1人が46%、2人が36%、3人が18%であり、調査対象は80%が4人以上の家族構成となっている。

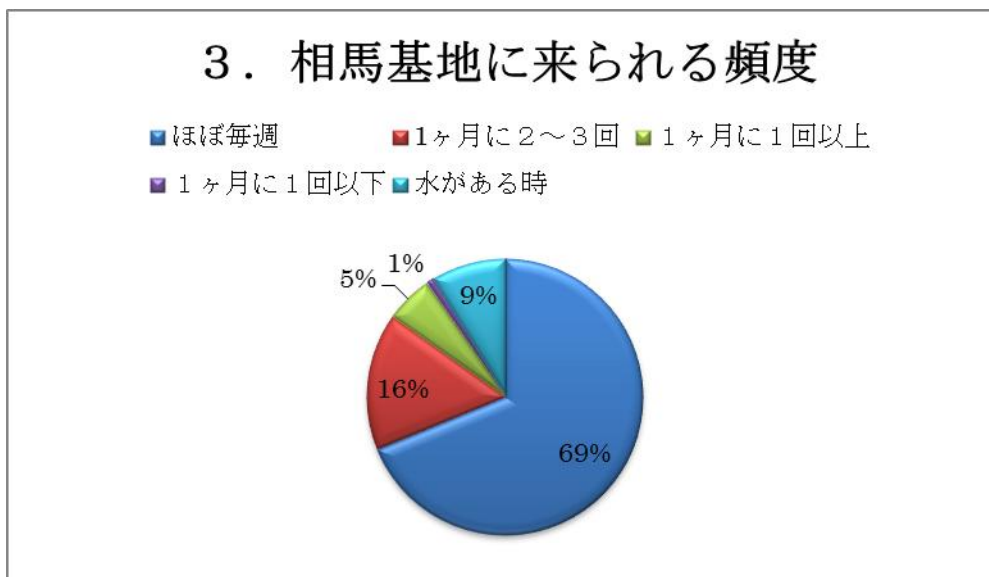
2. 現在の住まいについて



元の家に住んでいる	162
仮設住宅	18
借上げ住宅	22
仮設借上げ以外	10

現在の住まいは、元の家に住んでいるが76%、仮設住宅が9%、借り上げ住宅が10%、その他が5%で、大半が元の家に住んでいる。

3. 相馬基地に来られる頻度

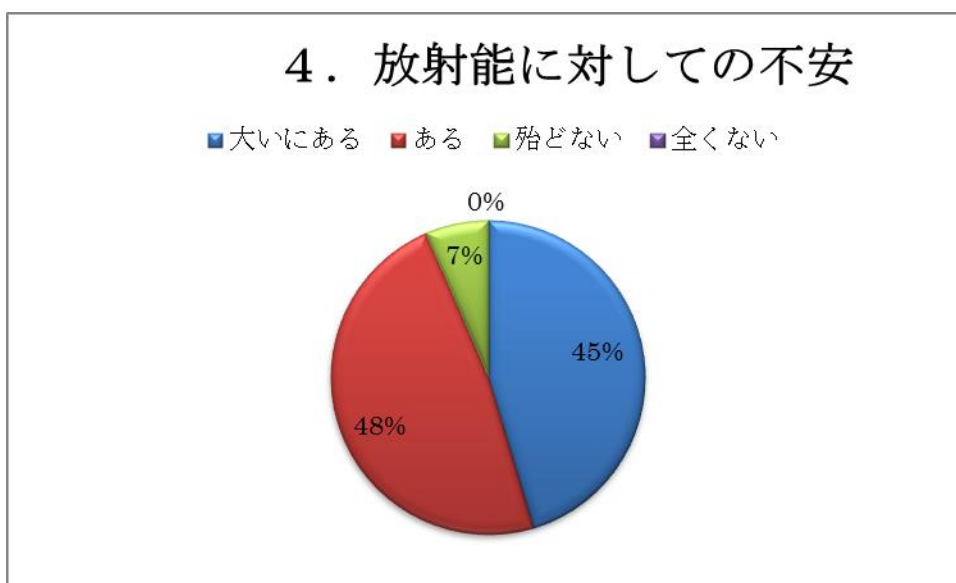


ほぼ毎週	150
1ヶ月に2～3回	35

1ヶ月に1回以上	12
1ヶ月に1回以下	2
水がある時	19

69%が、ほぼ毎週相馬基地に来ており、90%が1ヶ月に1回以上は相馬基地に来ている。また、9%は、水があるときに相馬基地に来る。

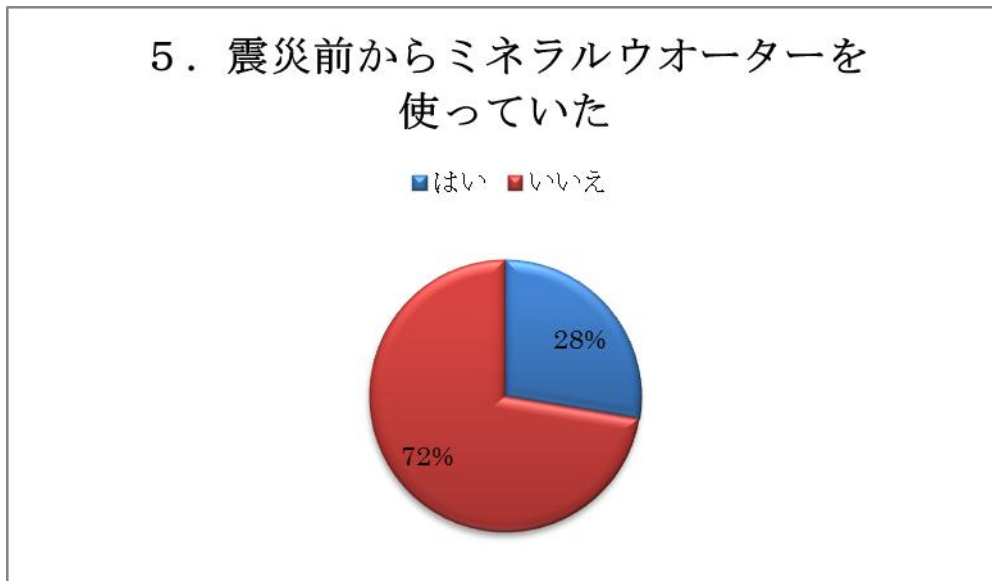
4. 放射能に対しての不安



大いにある	98
ある	104
殆どない	14
全くない	0

放射能に対しての不安は、大いにあるが45%、あるが48%と、93%が不安を抱えている。殆どないが7%だったが、全くないは0%となった。

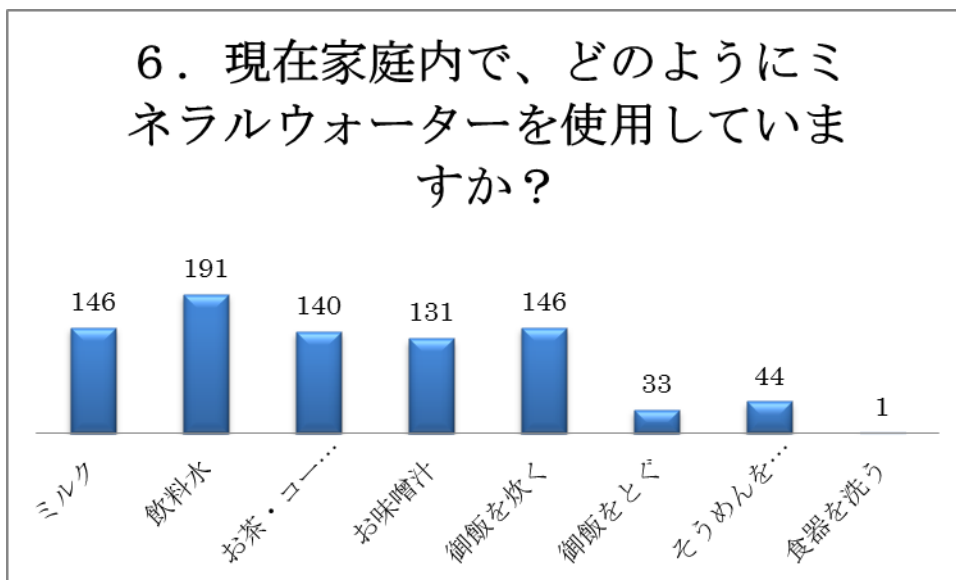
5. 震災前からミネラルウォーターを使用していた



はい	55
いいえ	144

震災前からミネラルウォーターを使用していたが28%であり、72%は震災前はミネラルウォーターを使用していなかった。

6. 現在変えていないでどのようにミネラルウォーターを使用していますか？



ミルク	146
飲料水	191
お茶・コーヒー	140

お味噌汁	131
御飯を炊く	146
御飯をとぐ	33
そうめんをゆでる	44
食器を洗う	1

ミネラルウォーターの使い道については、赤ちゃんのミルク、お茶やコーヒー、お味噌汁、ご飯を炊くが60%以上であり、飲料水に関しては88%となっている。また、ご飯をとぐが15%、麺をゆでるが20%となっている。

7. どのような状況になれば水道水を使いますか？

1, 2年は飲ませたくない
10年後
3~5年
30年後
安心して飲めるようになれば
安心だとわかったら
安心できれば
安全であれば
安全になるまで
安全を確認できれば
今は考えられない
今は不安です。
今はわからない
完全な安全が認められたら
完全に除染されれば
完全に放射能がなくなれば
原発事故の本当の収束
原発問題の解決
子供の水は一生使いたくない
この先ないと思う
このままではずっと使わないと思う

自家水、井戸水
時間と原発状況による
事故の収束
しばらくかかりそう
除染が終わったら
信じられないので数年は使わない
数値が0になれば
セシウムが不検出でも当分は使いたくない
そろそろかと、離乳食が終わるまでは
飲み物以外
はっきりわからない
福島県に住んでいる以上は飲み水にはこれから先も使うことは無いです。
不検出でも不安、福島の放射能がかなり少なくなれば
放射能0
放射能が完全になくなれば
放射能が下がり、本当に安全になれば
放射能がなくなったら
放射能がもっとおちつくまで
放射能の心配がなくなれば
放射能の問題が解決すれば水道水を使用すると思います。
孫が帰ったら
全く問題なくなれば飲むかもしれません
ミネラルウォーターを買えなくなったら
娘がすべて水や野菜を管理
もう使いません
もう使わない